

学校教育目標 まなぶ子 つよい子 にこやかな子

一人ひとりのよさを生かした 知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成



松二小だより

東松山市立松山第二小学校

1 月 号

令和8年1月8日



〒355-0002 埼玉県東松山市大字東平 519-1 TEL: 0493-22-0247 FAX: 0493-22-0318 E-mail: matsu2-e@higashimatsuyama-stm.ed.jp

「丙午の年、新しい一歩をふみ出そう」

校長 眞秀 宏

新しい年、令和8年が始まりました。穏やかな新年を迎え、子供たちの元気な声が学校に戻ってきたことを、大変うれしく思います。14日間という冬休み、それぞれの場所で様々な出来事を経験し過ごした時間は、子供たちの心と体を少し大きくし、表情には新しい年への期待が感じられます。3学期は、今の学年のまとめの学期であり、次の学年へとつながる大切な時期です。一日一日の学びや経験を積み重ねながら、子供たちが自分の成長を実感できるよう、教職員一同、心を合わせて教育活動に取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



始業式では今年の干支である「丙午」をもとに、こんな話をしました。

今日から3学期です。冬休み中は勉強やお手伝い、運動や読書など、がんばった人もいれば、思うようにいかなかった人もいます。でも、「どうしたらいいかな」と考えて行動したこと自体に、大きな価値があります。うまくいったことも、うまくいかなかったことも、どちらも大切な経験です。自分で考えて取り組んだことに、むだなことは一つありません。3学期は今の学年のまとめの時間。学校へ来る日は、あと50日ほどです。今まで身に付けてきた力を全部使って、一日一日を大切に過ごしてください。

さて、今年は「丙午（ひのえうま）」と言われる年です。昔の人は、年を表す漢字にも意味をこめていました。「丙」という字は、土から出た芽が太陽の光をたっぷり浴びて、ぐんぐん伸び、葉を大きく広げていく様子を表しています。明るさやあたたかさ、「やってみよう」というやる気、成長のエネルギーを意味する字です。

一方、「午」という字は、餅をつくときの杵の形からできた字で、「動き」や「変化」「区切り」を表します。そして、馬のように力強く前へ進む姿にもたとえられてきました。馬は昔から、人を乗せて長い道を進み、重い荷物を運び、つまずいてもまた立ち上がって走り続ける動物です。

うまについてはこんなことわざがあります。「馬には乗ってみよ、人には添うてみよ」これはやる前から何かを決めつけるのではなく、実際にやってみてこそ本当のことが分かる、という意味です。冬休み前に話した「無用の用」と同じ考え方です。一見むだに思えることでも、やってみた経験や失敗は、必ず自分の力になります。丙午の年は、太陽のようなエネルギーと、馬のように前へ進む力が重なる年です。これまでのがんばりを力にして、新しい目標に向かって一歩をふみ出すのにぴったりの年にしてください。

ただし、何をするにも一番大切なのは健康です。寒さが厳しくなり、感染症も流行りやすくなります。「うがい・手洗い」「早寝・早起き・朝ごはん」を大切に、3学期も「まなぶ子」「つよい子」「にこやかな子」でがんばっていきましょう。

3学期は、一年間の教育活動の成果を確かめ、次の学年へとつなげていく大切な仕上げの時期です。学習面はもちろん、友達との関わりや困難に向き合う姿など、日々の学校生活の中で培ってきた力を、実感できる場面を大切にしていきたいと考えています。今年は「丙午」の年。子供たちがこれまでに伸ばしてきた芽を確かな力として結実させ、自信をもって次の一歩を踏み出せるよう、教職員一同、最後まで丁寧に指導と支援を重ねてまいります。地域・保護者の皆さまと共に、一人一人の成長を喜び合える学期となりますよう、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。